



「大東市民まつり」(1972年～)

1972年、初代理事長(故)橋本喜八郎OBの時に「若さ」と「情熱」と「英知」をもって地域社会に貢献したいという思いから、認証伝達式記念事業「市民の集い」として発足。主に市民会館を会場とし、1978年まで「チャリティーショー」や「子ども教室」、[カクテル教室]、「講演会」等が開催されました。1979年に「大東市民まつり」と名称を変更し、「パレード」や「模擬店」、「講演会」、規模の拡大に伴い1989年には会場をサーティーホールに、1996年から2003年までは深北緑地で開催されました。2004年からは、サーティーホールと末広公園に会場を移行、現在に至ります。



「わんぱく相撲JC旗争奪戦」(1979年～)

43年目

1979年に「市民の集い(現在 大東市民まつり)」の協賛事業として、「市民の集い」に多くの市民に参加してもらうことを目的に「ちびっこ相撲大会」として始めました。1986年まで市民まつりの協賛事業として継続、その後、目的を「青少年の健全育成」として、1989年に「わんぱく相撲JC旗争奪戦」と名称を変更して現在まで続く事業となりました。両国国技館で行われる全国大会で、過去に3位入賞をはたしたちびっ子も生まれました。



「大同国際青年商會との交流」(1986年～)

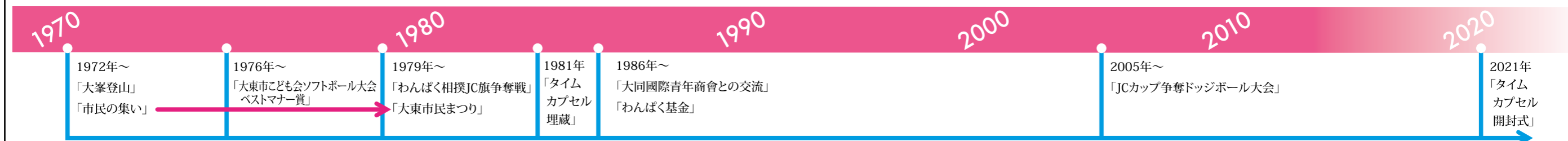
36年目

国際視野を広めるという観点から、台湾の大同国際青年商會と会員相互の親睦を深めるため、創立15周年を機に姉妹提携を締結しました。数多くの共同事業を行い、国際間での青少年健全育成に寄与しています。



「JCカップ争奪ドッジボール大会」(2005年～2015年)

大東市内の子ども達に、スポーツを通じて礼儀を学んでもらいたいとの思いでポール一つで気軽に楽しめるドッジボール大会を開催し、青少年健全育成の一環となるように継続事業として行なっております。男の子も女の子もいっしょになってボールを追いかける姿は、今も昔も変わらず、なつかしさと同時に、僕たちも参戦したい気分させられます。



「大峯登山」(1972年～) 50年目

1972年に、社団法人 大東青年会議所の発展祈願と、JCの三信条「奉仕」「修練」「友情」を理解し実践、大東JCメンバーの精神力向上ならびに相互の親睦をはかることを目的としてはじまった事業です。



「大東市子ども会ソフトボール大会ベストマナー賞」(1976年～)

1976年に「子ども会ソフトボール大会」として始めました。子どもたちにソフトボールを通じて、スポーツマンシップの大切さ、マナーの向上など、青少年健全育成を目的とした事業です。ベストマナーの審判をおこなう大東JCメンバーも子どもたちの真剣なまなざしに感動し、子どもたちから忘れかけた思いや多くのことを学ばせてもらっています。



「タイムカプセル開封式」(2021年)

